

## 事業評価（案）

評価時点：事前評価

計画名称：社会資本総合整備計画事業

・美園地区（第2期）都市再生整備計画

《都市局まちづくり推進部浦和東部まちづくり事務所》

## 公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

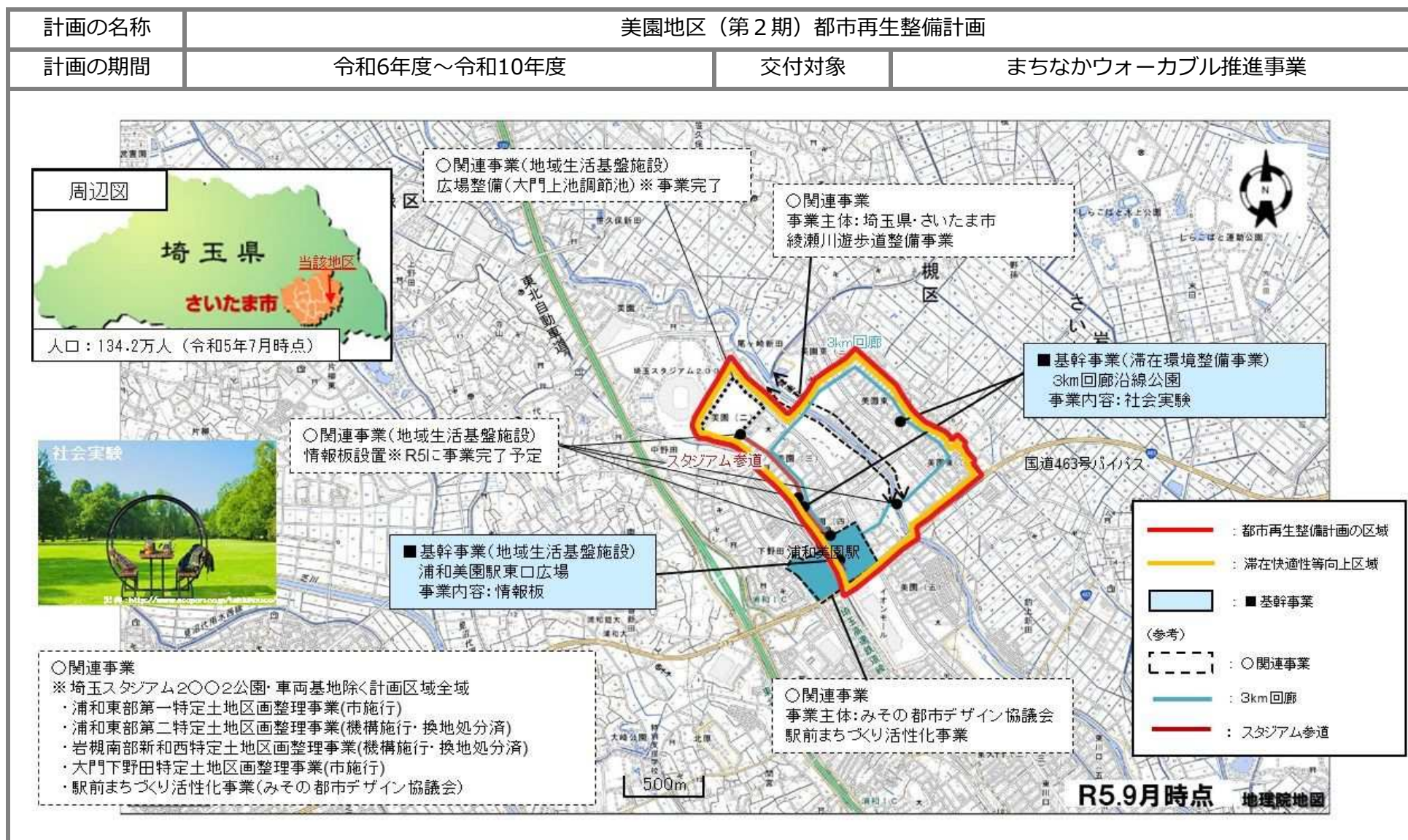
(1) 概要									
計画(事業)の名称		美園地区(第2期)都市再生整備計画							
計画(事業)の期間		令和6年度～令和10年度							
計画の目標		<p>大目標：さいたま市の副都心の一つとして、本地区の象徴たる埼玉スタジアム2002をはじめとする地域資源を生かしながら、スポーツ・健康・環境をテーマとした良好な都市環境を形成する。</p> <p>目標1：市の副都心に相応しい都市環境の形成。</p> <p>目標2：健康を育み、スポーツ・レクリエーションに親しみやすい都市環境の形成。</p> <p>目標3：地域の特色を活かした賑わい・滞留・交流の創出。</p>							
計画の成果目標 (定量的指標)		交流人口							
		駅乗降人員							
定量的指標 の定義及び 算定式	指標①	浦和美園駅周辺でのイベント参加者数	定量的指標の現況値及び目標値						
			当初現況値	中間目標値		最終目標値			
			(令和4年度)	(年度)		(令和10年度)			
			308,500人/年			448,400人/年			
	指標②	浦和美園駅の乗降客数(定期利用者除く)	9,000人/日			11,600人/日			
指標③									
全体事業費	合計(A+B+C)	40(百万円)	A	40(百万円)	B	(百万円)	C	(百万円)	

(様式1)

<b>(2) 交付対象事業の詳細</b>											
A まちなかウォークラブル推進事業 (基幹事業)											
番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用便益費 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R6	R7	R8	R9	R10		
1	滞在環境整備事業	社会実験 ・整備	2箇所		■	■	■	■		34	
2	地域生活基盤施設	情報板	1基						■	6	
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
合計 (〇〇〇〇事業)											
B 関連社会資本整備事業											
1											
2											
3											
合計 (〇〇〇〇事業)											
C 効果促進事業											
1											
2											
3											
合計 (〇〇〇〇事業)											

担当部局	都市局まちづくり推進部浦和東部まちづくり事務所 TEL : 8 7 8 - 5 1 4 3 FAX : 8 7 8 - 5 1 4 1 E-mail : urawa-tobu-machidukuri@city.saitama.lg.jp
------	--

参考図面



# 社会資本総合整備計画

## ～美園地区(第2期)都市再生整備計画～

---

令和6年1月26日  
浦和東部まちづくり事務所

# 計画概要

## 美園地区都市再生整備計画事業

事業期間	平成31年度～令和5年度
交付対象事業	都市再生整備計画事業
基幹事業	・地域生活基盤施設(大門上池調節池広場) ・地域生活基盤施設(情報板)
協定制度	都市利便増進協定(法第46条第25項)

次期計画として作成

## 美園地区(第2期)都市再生整備計画事業

事業期間	令和6年度～令和10年度
交付対象事業(新規)	まちなかウォークラブル推進事業
基幹事業	・地域生活基盤施設(駅前広場情報板) ・滞在環境整備事業(3km回廊沿線公園)
協定制度(継続)	都市利便増進協定(法第46条第25項)



# 背景

## 美園地区

- 本市の副都心
- 大規模な土地区画整理事業を施行
- 「埼玉スタジアム2002」などの地域資源を生かしながら、“スポーツ、健康、環境・エネルギーを軸に先端的なライフスタイルを創造する副都心地区”の形成を目指す
- 副都心の都市機能の向上、まちのブランド差別化を図るために、「公民+学」による都市環境を形成



(一社)美園タウンマネジメント 作成



# 課題・目標

## 課題

- 都市基盤が概成し、今後土地活用が本格化するにあたり、オープンスペースの利活用促進、歩行環境・交通利便性の向上など、地域資源を活かしながら空間の質を高め、“美園”に暮らす人・働く人・学ぶ人・訪れる人それぞれにとって心地よい都市環境の維持・向上が必要
- 埼玉スタジアムでのイベント開催時における賑わい・交流だけでなく、日常的に多様な都市活動が生まれるような都市環境の形成が必要
- 地区内の滞在快適性に寄与する環境・設備等は拡充の途上段階であることから、賑わい・交流創出を目的とした「みその都市デザイン協議会」で実施しているイベントや地域のスポーツ活動等において、休憩できる設備の不足等により事業の活性化が図られていない
- 賑わい・交流の拠点を埼玉スタジアムや大門上池調節池広場のみならず、地区全体へ拡大し、地域内外の人々がスポーツ・レクリエーションにおいても親しみやすい環境を面的な形成が必要

## 目標

### 大目標

さいたま市の副都心の一つとして、本地区の象徴たる埼玉スタジアム2002をはじめとする地域資源を生かしながら、スポーツ・健康・環境をテーマとした良好な都市環境を形成する

### 小目標

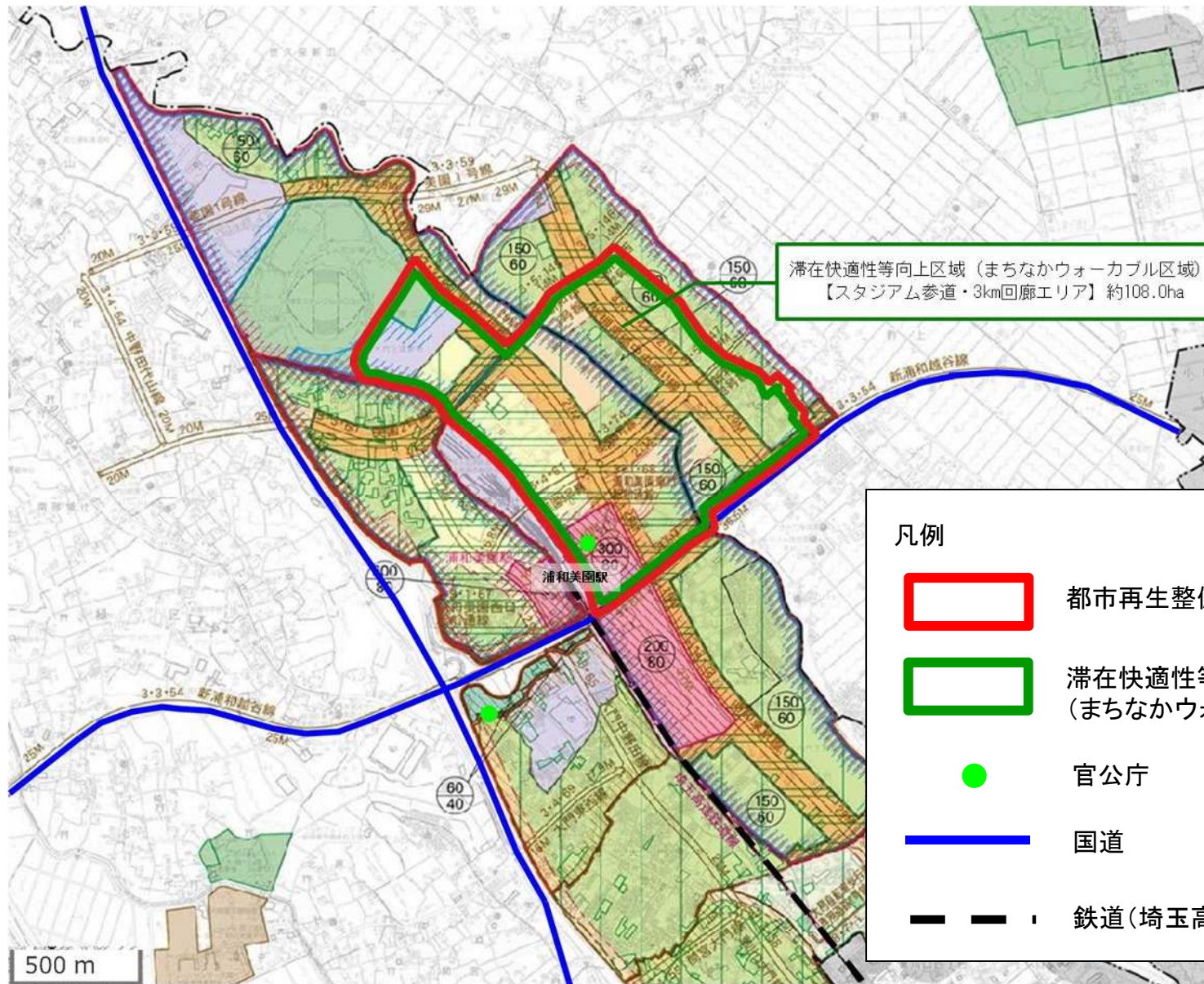
目標1：市の副都心に相応しい都市環境の形成

目標2：健康を育み、スポーツ・レクリエーションに親しみやすい都市環境の形成

目標3：地域の特色を活かした賑わい・滞留・交流の創出



# 計画区域



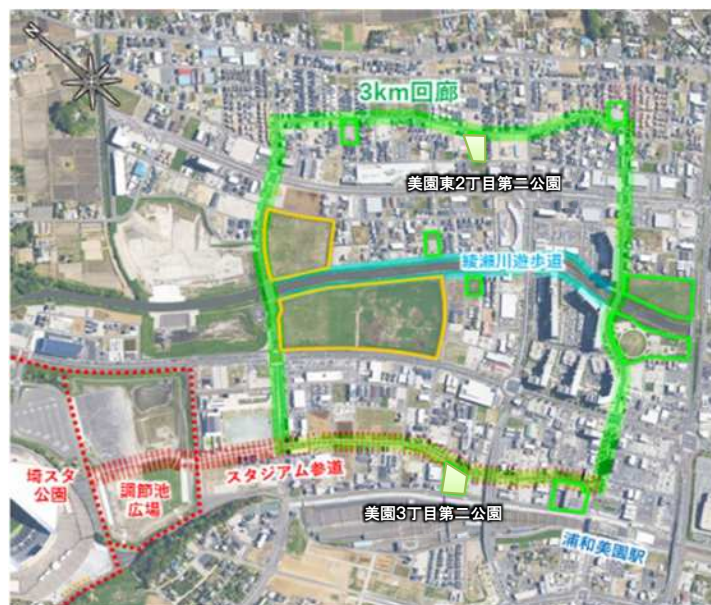
# 事業内容

計画期間 令和6年度～令和10年度

要素となる事業の内容

事業名（基幹事業）	内容	R6	R7	R8	R9	R10	事業費 (千円)
まちなかウォーカブル推進事業	・滞在環境整備事業 ⇒公園における休憩施設 設置の社会実験や整備	■	■	■	■		40,000
	・地域生活基盤施設 ⇒駅前広場情報板					■	

・まちなかウォーカブル推進事業として以下の事業を実施



都市デザイン協議会等によるイベントや地域活動による賑わい・滞留・交流の創出を促進



# 協定制度等の取り組み

計画期間 令和6年度～令和10年度

要素となる事業の内容

事業名	内容	R6	R7	R8	R9	R10	事業主体
都市利便増進協定 (法第46条第25項)	・道路高架下等を活用した駐輪場やシェアサイクルポートの整備および管理運営 ⇒得られた収益の一部をまちづくり活動へ還元	■	■	■	■	■	一般社団法人 美園タウンマネジメント(都市再生推進法人)



# 指標

## ■指標1【交流人口】

浦和美園駅周辺でのイベント参加者数

(人／年)

従前値	目標値
308, 500	448, 400

## ■指標2【駅乗降人員】

浦和美園駅の乗降客数(定期利用者除く)

(人／日)

従前値	目標値
9, 000	11, 600

# 指標設定の考え方

## 指標 1 交流人口

### ①定義

浦和美園駅周辺でのイベント参加者数

### ②指標設定の考え方

休憩施設や情報板の設置により、イベントや地域活動時の滞在快適性や情報発信機能の向上など活動環境の充実につながり、賑わい・交流に関わる都市環境が向上し、イベント参加者数の増加が期待できる。

(人/年)

### ③目標値

R2	R3	現況値 R4	目標値 R10 (現況から6年後)
106,000	126,100	308,500	448,400

### ④目標値設定の流れ

- ・浦和美園駅周辺で開催されたイベントへの参加者数を計測
- ・近年の傾向として、イベント参加者数は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に急激に減少したものの、以降は増加傾向
- ・令和2年から令和4年までの過去3年間のイベント参加者数の伸びの傾向を踏まえ、対数回帰で目標値を算定



# 指標設定の考え方

## 指標 2 駅乗降人員

### ①定義

浦和美園駅の乗降客数（定期利用者除く）

### ②指標設定の考え方

休憩施設や情報板の設置により、イベントや地域活動などの活性化による来訪者数の向上につながり、賑わい・交流に関わる都市環境が向上し、浦和美園駅の乗降客数の増加が期待できる。

(人/日)

### ③目標値

R2	R3	現況値 R4	目標値 R10 (現況から6年後)
8,500	7,100	9,000	11,600

### ④目標値設定の流れ

- ・浦和美園駅の乗降人員を計測
- ・近年の傾向として、乗降客数は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から3年度にかけて急激に減少したものの、以降は増加傾向
- ・令和3年から令和4年までの過去2年間の駅乗降人員の伸びの傾向を踏まえ、対数回帰で目標値を算定